



# TL/TIL/TLM/TILM/TH/TIH/TD/TID Series

## チューブ／注意事項

ご使用の前に必ずお読みください。

### 選定

#### ⚠ 警告

##### ①仕様をご確認ください。

本カタログ記載の製品は、圧縮空気システム(真空含む)においてのみ使用されるように設計されています。仕様範囲外の圧力や温度では破壊や不具合の原因となりますので、使用しないでください。(仕様参照)

##### ②医療用途で本製品をご使用の場合

本製品は医療用機械器具の圧縮空気システム用途において使用されるよう設計しています。人体への移植、体液や生体組織に接触する用途には使用しないでください。

#### ⚠ 注意

##### ①接続ねじ部とチューブ接続部が摺動もしくは回転する場所には使用しないでください。

摺動もしくは回転によりねじ部とチューブ接続部が分離することがあります。

##### ②チューブは最小曲げ半径以上でご使用ください。最小曲げ半径以下で使用するとチューブの折れやつぶれの原因となります。

##### ③ガス、ガス燃料および冷媒等の可燃性、爆発性または毒性のあるものには使用しないでください。

チューブの内部から外部へ浸透することがあります。

##### ④継手はチューブサイズに適するものをご使用ください。

### 取付

#### ⚠ 注意

##### ①取付け前に型式、サイズなどを確認してください。

また、製品に傷、打痕、亀裂などがないかご確認ください。フッ素樹脂チューブは、使用している樹脂の特性上、印字ができないことから製品型式印字を施しておりません。フッ素樹脂チューブ同様に製品型式印字を施していない製品と混在した場合、製品の判別が困難であるため、ご使用中もしくは保管時に、混在することがないように、ご配慮をお願いします。

##### ②チューブを接続するときは圧力によるチューブ長さの変化などを考慮し、余裕を取ってください。

##### ③継手とチューブに捻じり、よじり、引っ張り、モーメント荷重などがかからないようにしてください。

継手の破損やチューブのつぶれ、破裂、抜け等の原因となります。

##### ④チューブに摩耗、絡まり、傷つきがないようにしてください。

チューブのつぶれや破裂、抜け等の原因となります。

### 配管

#### ⚠ 注意

##### ①配管前の処置

配管前にエアブロー(フラッシング)または洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、ゴミ等を除去し、配管ねじの切粉やシール材が配管内部へ入り込まないようにしてください。

### 空気源

#### ⚠ 警告

##### ①流体の種類について

使用流体は圧縮空気を使用してください。

##### ②ドレンが多量の場合

ドレンを多量に含んだ圧縮空気は空気圧機器の作動不良の原因となります。エアドライバ・ドレンキャッチをフィルタの前に取付けてください。

##### ③ドレン抜き管理

エアフィルタのドレン抜きを忘れるとドレンが二次側に流出し、空気圧機器の作動不良を招きます。

ドレン抜き管理が困難な場合には、オートドレン付フィルタのご使用をおすすめします。

以上の圧縮空気の質についての詳細は、当社の「圧縮空気清浄化システム」をご参照ください。

### 使用環境

#### ⚠ 警告

##### ①爆発性雰囲気のある場所では使用しないでください。

##### ②振動または衝撃の起こる場所では使用しないでください。

##### ③周囲に熱源がある場合、放射熱を遮断してください。

### 保守点検

#### ⚠ 注意

##### ①定期点検において、以下のことを確認し、必要に応じて交換してください。

- a) 傷、打痕、摩耗、腐食
- b) エア漏れ
- c) チューブのよじれ、つぶれ、捻れ
- d) チューブの硬化、劣化、柔らかさ

##### ②交換したチューブや継手を繕ったり、修理して再使用しないでください。

##### ③インサート管継手、ミニチュア管継手を長期間使用時には、材質の経時変化により漏れが発生する場合がありますのでチューブ接続部の増し締めを行ってください。

増し締め後も漏れが発生する場合には新品と交換してください。